

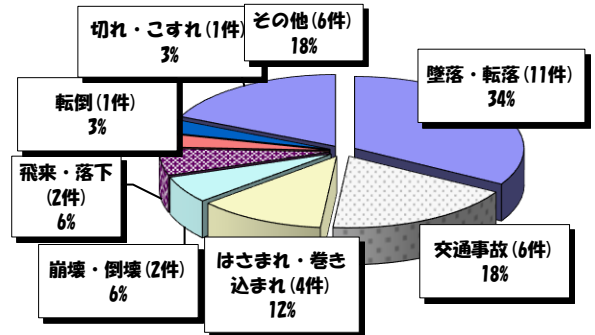
STOP! 死亡災害

死亡災害が急増しています

神奈川県労働局管内の労働災害による死亡者数は、本年10月末時点で33人となっています。これは、昨年同時期が22人であったことから11人の増加となっています。

相模原署管内では昨年の死亡者数は3名(確定)でしたが、本年は5月に1件の死亡災害が発生し、その後しばらく発生していなかったところ、9月に1件、それから1か月も経たないうちに2件の死亡災害が発生し、10月末時点の死亡者数は4名となっています(昨年確定に比べ1名増)。

このような状況を踏まえ、急増する死亡災害に歯止めをかけて、安全で安心して働ける職場の実現に向けて、リスクアセスメントをはじめとした一層の取組をお願いいたします。



事故の型別の死亡災害(神奈川県管内)

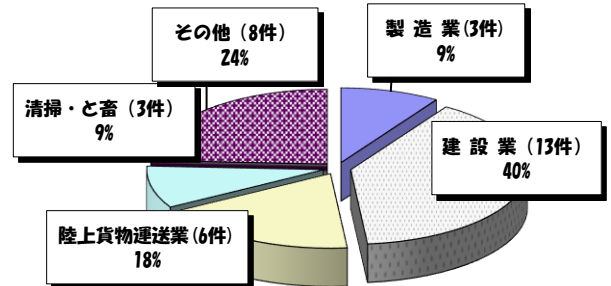
死亡事例(相模原労働基準監督署)

発生月 6月
業種 道路貨物運送業
タンクローリーが産業ガス納入先(神奈川県外)に到着後、産業ガス注入区画開錠のため運転者が下車中に、無人の同車が傾斜のある駐車場で後進を始めた。運転者が駆け寄って停止を試みたが、同車と駐車場の壁に挟まれ死亡したものの。

発生月 9月
業種 建設業
治山工事現場内で、治山ダムの掘削作業中に斜面上部から落石が発生し、作業をしていた作業員に当たり死亡したものの。

発生月 10月
業種 その他(ゴルフ場)
ゴルフ場のグリーン周りの除草剤散布作業中に首を蜂に刺され、アナフィラキシーショックを発症し、翌日、死亡したものの。

発生月 10月
業種 清掃・と畜業
マンション(9階建)の窓清掃のため出張(神奈川県外)し、屋上でロープ高所作業(ブランコ作業)の準備中、屋上の端から地面へ墜落したものの。



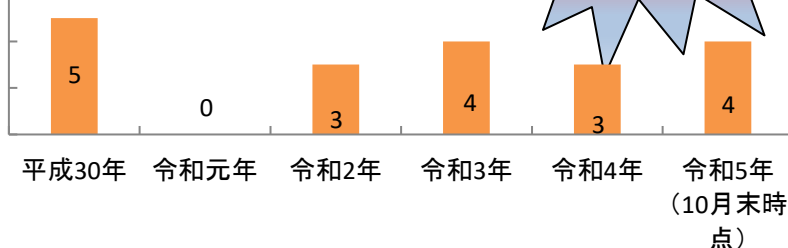
業種別の死亡災害(神奈川県管内)

最近の労働災害の発生状況を踏まえ行っていたきたい事項

- 1 神奈川県労働局管内・相模原署管内の労働災害の現状を踏まえた経営トップによる方針の表明
- 2 職場内の安全衛生活動の総点検
- 3 リスクアセスメントの実施
- 4 墜落・転落災害防止対策の徹底
- 5 非定常作業時の安全対策の徹底
- 6 労働者に対する安全衛生教育の徹底
- 7 交通労働災害防止の徹底

相模原労働基準監督署

年別死亡災害発生状況(相模原労働基準監督署)



年末年始に向け職場総点検の実施等積極的な活動を!